

緑の相談所だより

[12・1月号 ~ 1990・11・30発行 ~]

行 * 事 * 案 * 内



★正月用鉢物の管理

☆月 日：12月9日(日曜日)
☆時 間：午後1～3時
☆講 師：小島 博昭
(旭川市緑の相談所相談員)

★洋ラシ冬物の管理

☆月 日：1月13日(日曜日)
☆時 間：午後1～3時
☆講 師：村田 正一
(旭川市緑の相談所相談員)



季 節 の 花 言 葉

ポインセチア・・・聖誕・私の心は燃えている



クリスマスが近づくと、街中にあふれ出す赤と緑の葉があざやかな花木です。赤は、犠牲を表し、緑は、永遠の生命を表す色なのでクリスマスを象徴する花木なのです。



ハーブをもっと

我が家のハーブ畑

【準備と手順】

- 1) ハーブは新鮮なもので軽く一握り。
 - 2) 乾燥葉ならカップ2分01~3分02の分量。
(普通サイズの浴槽1回分の目安)
- これを木綿布で縫った布袋に入れ口をヒモで結び水のうちから浴槽に入れてください。

- ☆布袋のサイズ1)・・・本の新書版 程度
☆ " 2)・・・葉書サイズ 程度



《カモミール》

楽しみたい!!

《ローズ》



【効用は？】

- 軽い鎮静効果でリラックス
種類/カモミール・ホップ・ボダイジュ
- 体を温める効果のあるハーブ
種類/トウキ・アンゼリカ・セロリ
- 肌をひきしめる効果のあるハーブ
種類/ヤロウ・バセリ・ローズ

————— 冬 の 鉢 花 —————

■12月に入ると店頭で冬の鉢花が、華やかにその美しさを競いあっています。

- ☆シクラメン (別名 カガリビナ、サクラソウ科、花ことば=内気、はにかみ)
- ★エラチオールベゴニア (シュウカイドウ科、花ことば=親切、片思い)
- ☆シャコバサボテン (別名 クリスマスカクタス、花ことば=情熱)
- ★アザレヤ (別名 セイヨウツツジ、花ことば=自信、喜び、薄命)
- ☆シネラリヤ (別名 富貴菊、キク科、花ことば=快活、明るい性格)
- ★プリムラ類 (別名 サクラソウ、サクラソウ科)
 - ・プリムラオブコニカ (別名 トキワザクラ、花ことば=堅実、てがたい)
 - ・プリムラボリアンサ (別名 クリンザクラ、花ことば=赤=青春の希望・黄=豊か
白=可憐、かわいい)



冬の鉢花をうまく咲かせよう！！

村田相談員

冬を彩る鉢花がいろいろあります。つぎのようなことに気をつけると春まで長く楽しむことができます。

温 度

▶ 高い温度を好むものと、割合に低い温度を好むものがある。

- ・高い温度を好むもの（15度～25度くらい）コチョウラン、エラチオールベゴニア、ポインセチヤなど
- ・低い温度を好むもの（10度～20度）シクラメン、プリムラ、アザレヤ、シャコバサボテンなど。特にシンビジュームは夜の温度を15度以下にしないとつぼみが黄色くなって落ちてしまうので注意すること。

日 当 たり

冬の間はなるべくガラス越しの日光に当ててやる。

特にシクラメン、プリムラ、ベゴニア類、ハイビスカスなどは日照が不足すると花が咲かなくなる。

直射日光に弱いセントポリヤ、クンシランなどでもレースのカーテン越しの日光に当ててやる。

水 や り

鉢土の表面が乾いたら底から流れ出るくらいたっぷり与える。特に花を咲かせているものは水が必要。水は午前中に室温くらいの温かさにして与える。

肥 料

シクラメン、プリムラ、エラチオールベゴニア、冬咲きベゴニア、四季咲きベゴニアなどつぎつぎと花を咲かせているものは体力を消耗するので、水にとかした肥料を1週間ごとに与える。（例：ハイボネックス微粉の1000倍液など）

湿 度

冬は室内の空気が乾くので花が咲きにくくなったり葉が枯れたりする。日中の温かいときに霧吹きで葉水を与える。また夜はポリ袋をかぶせてやると湿度を保つことができる。バットにタオルを敷き、水を含ませ、その上に鉢を置くのもよい。

咲きながら、傷んだ葉

花の咲きがらはその都度取り去る。シクラメンの場合は黄色くなった葉や花の終わった茎をねじりながら引っ張り、元から丁寧に取る。

病 気、害 虫

冬でも病気や害虫がつくことがあるので注意する。もし発生した場合、なるべく早めに殺菌剤や殺虫剤をかけて完全に退治する。

フジ・ブドウの冬囲い

フジ・ブドウの冬囲い

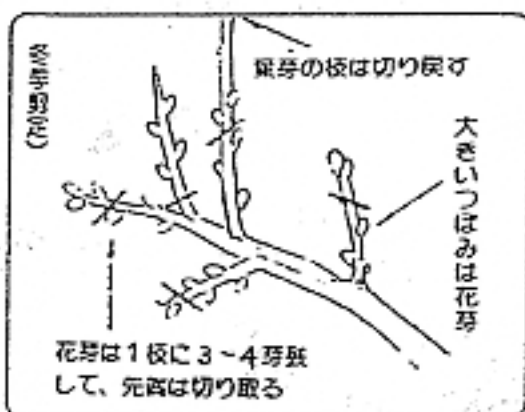
小島相談員

フジやブドウは特別囲う必要はありませんが、越冬時期をむかえるために寒さの害から守るためではなく雪による被害から守るための手段をこうじる事が必要です。ブドウの場合品種によって冬囲いの必要なものがありますが、この様な品種は旭川地方では無理と考えるのが妥当かもしれません。

【I】 フ ジ

フジは蔓性花木で旭川地方で容易に越冬しますので必要以上の冬囲いは必要なく、棚仕立ての場合は棚に結束し、雪の害から枝折れを防ぐことが大切です。ただし寒風の強い吹きさらしの高所、海岸地方では冬囲いは必要ですが一般的には寒さに強いものとされていますので、この時期はむしろ冬囲いではなく剪定に重点を置くことが越冬中のいろいろな被害から守り正常な生育に導く大切な作業です。

冬季剪定の時期は旭川地方では根雪になる頃《11月下旬～12月上旬》が良いと思われます。冬季剪定は、今年伸びた枝に花芽を3～4芽程度のこして剪定し、こみすぎた枝葉芽だけの枝、ヒコバエなどはきりとりまします。剪定方法は上図の通りです。

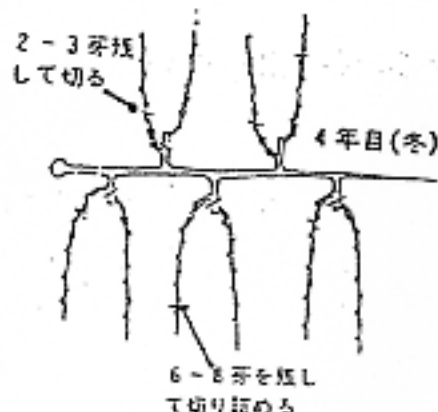


【II】 ブ ド ウ

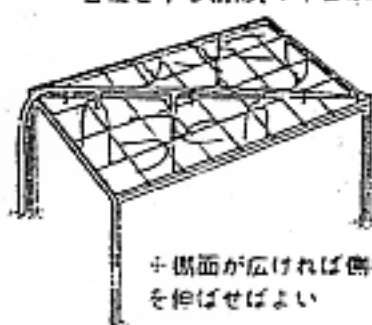
ブドウについてもフジと同様に冬囲いの必要はありませんが品種によって冬囲いの必要なものはありますが冬季間の管理のむずかしい品種はさけたほうがよいでしょう。

剪定の時期は、落葉時から発芽の2～3週間前におこないますが、旭川地方では落葉から根雪前後に終わらせた方がよいでしょう。

ブドウは当年伸長枝に花房をつけるものですので剪定しないでおくと枝が多くなり過ぎて日当たりが悪くなり良いものが収穫できなくなりますので良い枝を選んで残すことが大切で、多すぎる枝、枯れた枝などは基部から、又枝を切りつめる切りもどし剪定を的確におこなうことが大切です。剪定の方法は下図の通りです。



目標とする樹形(4年目以降)



芽の間隔が狭くなったところで切り詰める

